

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	令和2年4月1日	終期	令和5年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟市応急排水ポンプ維持管理費助成金 下水道未整備地域において自治会又は町内会が設置した応急排水ポンプの維持管理に要した費用に対し助成す						
款・項・目	土木費 道路橋りょう費 都市排水応急対策費						
所属等	土木部 土木総務課 総務班 電話 025-226-3025 (内線: 33025)						

年 度		令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	760	760	760
	決算(千円)	653	375	645
補助率	市長が必要と認めた額の80パーセント以内		市長が必要と認めた額の80パーセント以内	市長が必要と認めた額の80パーセント以内
目 標	下水道未整備地域の排水不良の解消を図ること <目標が数値でない場合の評価方法> 下水道未整備地域における低地浸水対策として、申請を受けたものに対する対応割合について評価する。			
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上			
	達成率80%以上			
	達成率50%以上			
	達成率50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	東区: 1自治会(2台) 西区: 6自治会(8台) 申請件数 10件 対応件数 10件 対応割合 100%	東区: 1自治会(2台) 西区: 8自治会(10台) 申請件数 12件 対応件数 12件 対応割合 100%	(令和5年3月末時点) 東区: 1自治会(2台) 西区: 8自治会(10台) 申請件数 12件 対応件数 12件 対応割合 100%
補助事業者による情報の公表	申請した区役所建設課で実績報告書の写しを閲覧できる			

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a~fにおける取組> 本制度はある一定の基準を定め、下水道未整備地域の排水不良解消を図るものとして、生活環境の確保及び向上に必要と判断できることから、現状通りの補助率で対応する。 <g~hにおける取組> 本制度は下水道未整備地域の配水不慮の解消をはかり、自治会又は町内会が設置した応急排水ポンプの維持管理を対象に助成金を交付するものである。申請には原則対応しており、数値による目標設定はなじまないため、具体的な設定は行わない。			
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
	① 拡充・改善(補助率、補助額、補助対象経費、その他) ② 継続 ③ 廃止 ①~③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること ・本助成金により設置される応急排水ポンプ(以下、施設)は、下水道未整備地域において排水不良による被害(浸水被害等)を防ぐために設置されるものである。施設は、市道とは異なり側溝による雨水集水ができず、浸水被害等が発生しやすい私道に設置されている(袋小路で逆勾配など)。過去10年間で86件、7,068千円を施設維持管理費として助成しており、その成果として市下水道部において市道の下水道整備が完了していない地域内において、浸水被害等から市民の生命・財産を守っているものと捉えているため、本制度を継続し、生活環境の向上に努めたい。				